

地球防衛家の ピロピロ



「自然で分解」プラ表示誤り 消費者庁 10社に再発防止措置命令

自然の中で分解され環境にやさしいといわれる「生分解性プラスチック」を使ったとする製品で、あたかも使い捨てをしても自然に分解されるかのような表示「ンチキ」などが加わった。スタッフの一人、ウクライナ中部ドニプロのイリーナ・スピドランさん(65)は4月、日本に住む娘を頼って来日した。「幼い孫を抱えた娘に頼ってばかりではいけない」と下ごしらえに励む。ウクライナ中部チエルカーシの教師ナターリア・グリガロさん(44)は夫と息子を失い、4月に中学生の娘と来日した。「ロシア軍が迫る中、数週間帰れると願いながら出国した。ここでは助け合いながら働くことができ、ありがたい」と話す。

消費者庁 となった「1、カツパ、ミ袋、エマ」など。10社 16年1月 販売した制などで、土生物によと水に分うに示す。

避難民に職 支援の輪を

新橋 ウクライナ料理店開業

ウクライナから戦火を逃れて避難してきた人たちに働く場を提供しようと、東京・西新橋にウクライナ料理店が開業して3カ月になる。店の名は「スマチノーゴ」。ウクライナ語で「おいしく召し上がれ」の意味だ。現地風の料理や接客を通じて避難民と客が触れ合い、支援の輪が広がればとの思いが込められている。オフィス街のビル2階。

20席の明るい空間の壁はウクライナ国旗の青と黄が目立つ。日本人シェフとウクライナ人数人が働く。オーナーは、都内在住で俳優や美術家として活動するTAKANE(本名・江副敬子)さん。欧州に住んでいたことがあり、日本に避難したウクライナの人々の暮らしが気になった。「避難が長期化する中、仕事になかなか見つからない



「スマチノーゴ」でランチを配膳するナターリア・グリガロさん(東京港区)

い。言葉があまり障害にならないと人と接する仕事を提供できないかと、飲食店の開業を思いつきました」。日本国内の避難民が集まるSNS経由でスタッフを募集。避難民7人を含むウクライナ人9人を雇った。日本人の口に合うように知り合いの料理人と相談して、和風とウクライナ風を融合したレシピを考えたと。9月の開業時のランチはロールキャベツやキウ風カツレツ丼。ロールキャベツは、ひき肉のたねにお米を練り込むウクライナ風。キウ風カツレツはどんぶりに盛りつけた。スタッフにも家庭料理を持ち寄ってもらい、食べ比べながら新しいメニューを考えている。ウクライナ風ギョーザ「バレニキ」や焼き菓子「プリアーニク」、ジャム入りの揚げパン「ポ

戦争の終息が見通せないなか、避難民に精神的な支えが必要だ、とTAKANEさんはいう。「お客さまに『おいしい』と声をかけてもらえば、速い異国で不安な気持ちも少しは和らぐはず。何か支援したいと思っている日本の人も、気軽に料理を食べに来てもらえれば」

ゲノム医療「遺伝情報保護に不安」

遺伝情報を使って病気の発見や治療につなげる「ゲノム医療」について、がその家族の6割が遺伝情報の保護に不安を感じてという研究結果を、東京チームがまとめた。秋の国会では、超党派の議員防が遺伝情報による差別防などを図る法案をつくらうたが断念。患者団体などが成立を望む声があがっている。

ゲノム医療は遺伝情報を使って病気の診断や治療にすると期待される。国は、がんや難病の患者ををに、すべての遺伝情報「ノム」を解析し、得られる治療に生かす事業もっている。

がん患者やその家族、以外の一般市民の計約1にに対し、2021年3月ンターネットでアンケート。全ゲノム解析への懸について「遺伝情報が適切護されるか疑わしい」と答が一般市民(53%)べ、がん患者(61%)と

江氏「中国の青年 未来開拓を」

91年の外交文書公開 海部首相との会談で

2022年11月に96歳で死去した中国の江沢民・元首相と初めて会談した時の歴史問題を語る様子が、今で江氏と会談した時の記

後、これを批判したG7(主要7カ国)の首脳では初めてだった。

江氏はまず、「諸国の対中経済制裁解除促進に果たした役割を高く評価し、平和

史を有する一衣帯水の隣国だ。不幸な一時期があったが、双方が前向きな対応をしている」と語り、かつての日本の侵略と72年の国交正常化以来の友好関係に言及した。

さらに、青年交流が大切だとし、「日本においては過去の歴史を正しく理解する

課長として陪席した宮本雄二・元中国大使によると、印象は薄かったという。江氏がその後愛国教育に向かった背景について、宮本氏は「鄧氏の指示でしよう。鄧氏が70年代末から経済の改革開放を進める中で共産党政権を揺るがす天安門事件が起きた。鄧氏に



1横